令和８年度　**全国学力・学習状況調査結果分析**

［教科（国語、数学、英語）に関わる内容］　　札幌市立新川西中学校

【中学校 国語】

	本校の概要	課　　題	改善の方向
中学校国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。 ●文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。	○語句に着目し、その語句が文や段落においてどのような役割を果たしているかを捉える学習活動の充実。 ○手書きで漢字を書くことを通して、漢字の構成要素である「へん」や「つくり」などに注目する学習活動の充実。
	「情報の扱い方に関する事項」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	○実際の話し合いの中で、含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりする学習活動の充実。
	「話すこと・聞くこと」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。	○それぞれの置かれた立場や意見が出された背景について理解しながら話したり聞いたりする学習活動の充実。
	「書くこと」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見出すこと。	○読み手からの感想や助言を基に、自分の文章を振り返り、次の書く活動にどのように生かすかを考える学習活動の充実。
	「読むこと」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	○具体的な場面を思い浮かべ、学習内容を通して理解したことと結び付け、自分が文章をどのように捉えていたのかを振り返る学習活動の充実。

※記号の意味　（△）全国平均より+3 ポイント以上の項目（◇）全国平均より+3～0 ポイントの項目
（▼）全国平均より-3 ポイント以下の項目（◆）全国平均より 0～-3 ポイントの項目

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して± 3 ポイントの範囲内。

【中学校 数学】

	本校の概要	課　　題	改善の方向
中学校 数学	「数と式」 ▼全国平均に比べ、下回っている。 「図　形」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「関　数」 ▼全国平均に比べ、下回っている。 「データの活用」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●問題場面における考察の対象を明確に捉えていること。 ●統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。 ●具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見出すことができること。 ●数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること。 ●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること。	○ある数を基に予想した事柄が成り立つかどうかを具体的な数で改めて確かめることで、考察の対象を明確に捉えることができる学習活動の充実。 ○数の性質について、成り立つ事柄を予想し、その特徴を数学的に説明する学習活動の充実。 ○図形の性質を証明する場面において、与えられた条件や示された図から証明する事柄の仮定と結論を明らかにし、数学的に表現する学習活動の充実。 ○問題解決の方法に焦点を当て、表、式、グラフなどの用いるものと、それらを問題解決するためにどのように用いたかという用い方について考え、数学的な表現を用いて説明する学習活動の充実。 ○判断できる理由として、データの分布の傾向を比較してその特徴を捉え、数学的な表現を用いて根拠を明確にして説明する学習活動の充実。

※記号の意味　（△）全国平均より+3 ポイント以上の項目（◇）全国平均より+3～0 ポイントの項目
（▼）全国平均より-3 ポイント以下の項目（◆）全国平均より 0～-3 ポイントの項目

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して± 3 ポイントの範囲内。

【中学校 英語】

	課　　題	改善の方向
中学校　英語	**「聞くこと」** ●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけていること。 ●日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えること。 **「読むこと」** ●日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ること。 **「話すこと」** ●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すこと。 **「書くこと」** ●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。	○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを意識して活動を行うとともに、言語材料について理解したり練習したりする学習活動の充実。 ○話題を把握した上で、特定の部分にのみとらわれることなく、話の最初から最後まで通して、メモをしながら聞く学習活動の充実。 ○必要な情報は何か、何を読みとらなければならないのかを明確にした上で、必要な情報に関連する語句や表現に着目して読む学習活動の充実。 ○聞き手に伝わる表現で話せるよう、話すことを繰り返し行い、ペアやグループでよりよい内容や表現について振り返る学習活動の充実。 ○書くことに慣れさせるために、まとまりのある文章を読み、書かれている文章の構成を理解する学習活動の充実。

※英語については、領域ごとの平均正答率が示されていないことから、本校が「課題」と捉える問題を抽出し、それらに対応する「改善の方向」を示している。

【生徒質問調査（生活習慣・学習習慣に関する質問）】

生徒質問調査

肯定的な回答の割合が高い質問（全国平均比）

・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
・学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
・あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか
（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）
・１、２年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか
・１、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか

肯定的な回答の割合が低い質問（全国平均比）

・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできますか
・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
・１、２年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
・１、２年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

【生徒の現状と課題・改善の方向】

本調査の結果を、本校の学校教育目標《目指す生徒像》に照らしますと、「２．広い豊かな心の生徒（情）」については、達成できている生徒が多い反面、「１．自ら学ぶ意欲のある生徒（知）」、「３．たくましく生きぬく生徒（体・意）」については、課題のある生徒が多い現状にあると分析できます。

この課題を改善するためには、家庭において、規則正しい生活を送る等、更なる基本的な生活習慣の確立を図るとともに、学校では、個に応じたきめ細やかな学習支援の充実を図り、TT や少人数指導を活用し、一斉指導と個別指導を適切に組み合わせて、基礎的な知識・技能の習得を図り、その成功体験を基に、主体的に学ぼうとする意欲を高めていくことが必要だと考えます。また、小中が連携し９年間を通した系統性・連続性のある教育の更なる充実を進めていきます。

そのためには、家庭と学校、地域が子どもを中心に据え、共に信頼し、連携して日常の取組を進めていくことが大切です。引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いします。